

樹脂材料に関する評価・解析はおまかせください

樹脂材料の耐火性試験評価サービス

■ 概要

近年、樹脂材料は電子部品の構成材料として幅広く使われています。しかし電子部品内に組み込まれた抵抗、コンデンサ、IC、トランス、コネクタなどの部品は動作時に比較的高温になり、特に短絡、開放などの故障時においては過熱状態となる可能性があります。それが周辺の樹脂材料の変形や発炎を引き起こし、トラブルの要因となります。

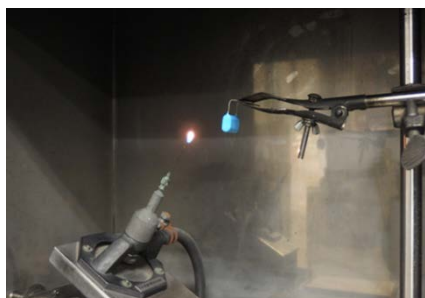
■ 特長

樹脂材料の耐火性評価としては、計量法に基づく特定計量器の電気計器型式承認試験要求事項であるニードルフレーム試験やグローワイヤー試験があります。これら耐火性試験とともに、赤外分光分析（FT-IR）を用いた化学的な解析を実施する事で、樹脂材料の劣化状況の確認、構成物質の特性変化の確認、樹脂材料の耐火性評価を実施することが可能です。OKIエンジニアリングでは、樹脂材料の耐火性試験評価に関する様々なニーズにお応えします。

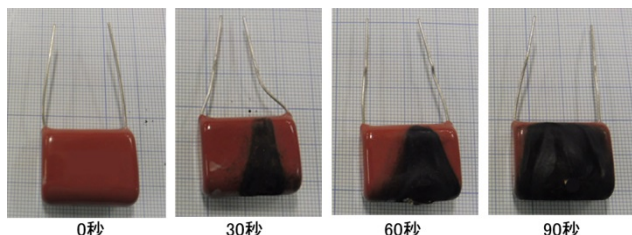
事例1 ニードルフレーム試験後のエポキシ樹脂の評価

■ 実施例

試験の時間経過による樹脂の状態を解析します。本評価では、ニードルフレーム試験では、燃焼温度まで達すると急激に炭化まで進む過程が確認できました。

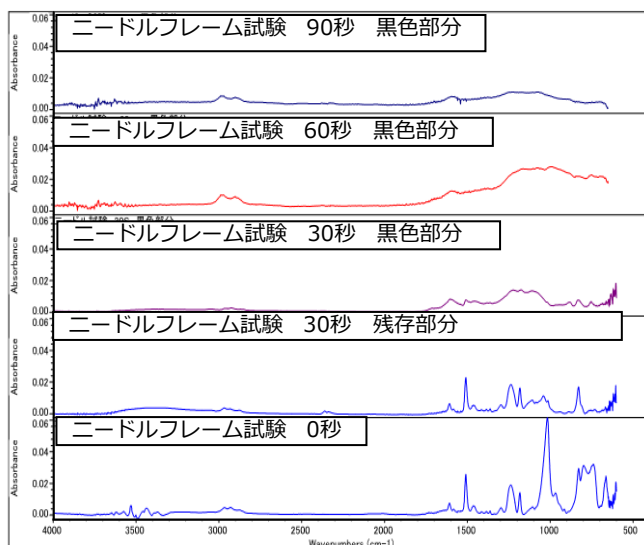


ニードルフレーム試験



0秒 30秒 60秒 90秒

コンデンサ（エポキシ樹脂）のニードルフレーム試験経過



コンデンサ（エポキシ樹脂）のニードルフレーム試験後のFT-IR測定結果

OKI 沖エンジニアリング株式会社

〒179-0084 東京都練馬区氷川台3-20-16

TEL : 03-5920-2300 (代表)

URL : <http://www.oeg.co.jp/>

お問い合わせ先

沖エンジニアリング株式会社

環境事業部 調査分析グループ

TEL : 03-5920-2356

E-Mail : oeg-enw-div@oki.com